



# 大阪市立 巽南小学校

校長名 谷野 智史

所在地 〒544-0015 大阪市生野区巽南2-10-7

電話 06-6757-9174 FAX 06-6757-6061

URL <http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=e671497>



## 主な学校行事

4月	入学式 始業式対面式 学習参観
5月	校外学習 体力テスト
6月	子どもフェスティバル
7月	期末個人懇談会 終業式 林間学習(5年)
8月	始業式
9月	土曜参観
10月	運動会 校外学習 修学旅行
11月	創立記念日 学習発表会(作品展)
12月	期末個人懇談会 終業式
1月	始業式
2月	卒業生を祝う会 土曜参観
3月	卒業式 修了式

## 教育目標

「人間性豊かな子どもの育成」

## 標準服

有



## 重点目標

- 安全・安心な教育の推進
- 児童一人一人の実態把握と学習形態を工夫した学力の向上
- ICTを活用した教育の推進
- 「いのち」を大切にしたい人権教育・道徳教育の充実
- 組織的対応による規範意識の醸成と生活・学習規律の確立
- 働き方改革の推進と教育環境の充実
- チーム巽南としての学校力の向上

## めざす子ども像

- よく考える子
- 思いやりのある子
- 力いっぱいやりぬく子

## 令和4年度全国学力・学習状況調査

### ● 平均正答率(%)

国語	算数	理科
50	52	45

### ● 結果概要

平均正答率については、国語科は50.0%で、大阪市の64.0%よりも14.0ポイント低かった。算数科は52.0%で、大阪市の62.0%よりも10.0ポイント低かった。理科は45.0%で、大阪市の60.0%よりも15.0ポイント低かった。

平均無答率については、国語科は11.0%で、大阪市の4.8%よりも6.2ポイント低かった。算数科は8.2%で、大阪市の3.3%よりも4.9ポイント低かった。理科は7.9%で、大阪市の3.9%よりも4.0ポイント低かった。3教科ともに、特に記述式問題において正答率・無答率が特に低かった。

### ● 自校の取り組みの成果と課題、アクションプラン

- ・学力の基礎・基本となる「読み取る力」の育成を図るために、児童が読み取ったことを整理し、それを基に意味や根拠を加えながら筋道を立てて記述したり、説明したりする力を育む。
- ・学校力UPベース事業（習熟度別少人数授業の展開、サポーターの活用等）を通して、児童1人1人の課題に応じて指導し、基礎的基本的な知識や技能を確実に身に付けることができるようにする。
- ・1人1台端末やデジタル教科書、ICT機器等を活用し、児童が関心・意欲をもち、学習により主体的に取り組むことができるような授業を展開する。

## 令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査

### ● 種目別平均値

性別	握力(kg)	上体起こし(回数)	長座体前屈(cm)	反復横跳び(回数)	20mシャトルラン(回数)	50m走(秒)	立ち幅とび(cm)	ソフトボール投げ(m)	合計得点
男子	16.46	17.63	34.00	36.71	41.57	9.48	145.00	20.58	50.09
女子	15.89	16.96	39.33	34.30	27.63	9.72	137.70	11.74	50.56

### ● 結果の概要

- 平均値について
  - ・男子 全国、市平均ともに8項目中4項目上回った
  - ・女子 全国平均を8項目中2項目上回った（市平均は1項目）
- 体力合計点について
  - ・男女ともに平均値が低い児童の割合が高い
- 質問項目「運動やスポーツをすることは好きですか」の回答状況
  - ・男子 肯定的意見が約9割
  - ・女子 肯定的意見が約8割
- 1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合
  - ・男子 1割
  - ・女子 約3割

### ● 自校の取り組みの成果と課題、アクションプラン

- ・昨年度より、児童にとって魅力のある体育科の学習を実践できるように取り組んできた。まずは、体育倉庫を整理整頓したり新しい教具を購入したりするなどの環境整備を行った。そして、指導者向けに体育科研修を実施し、体育科の授業づくりや指導法について学習する場を設けた。その成果もあり、体育科学習の取り組みに関する意識調査において、肯定的に意見する児童の割合が高かった。
- ・一方、体力合計点が低い児童の割合が高く、各項目の全国・市平均値を下回っている項目が多い。運動を苦手に感じている児童も進んで取り組み、一人ひとりが「わかる」「できる」と感じることができるよう授業を実践する必要がある。そうすることで、体育科の授業以外の時間でも運動に親しむ児童を育てることができると考える。

## 校長先生のメッセージ

箕南小学校では、令和5年5月1日現在275人の児童が学んでいます。児童は、授業規律の確立された中で落ち着いた学校生活を送っています。授業や行事にも積極的に取り組んでおり、日々、児童の笑顔があふれる学校です。地域も見守り活動等で温かく見守ってくれており、子どもたちが安心して通える学校です。教職員一丸となって、「人間性豊かな子どもの育成」をめざし、地域・保護者・学校が一体となって教育活動を推進しています。

## 運営に関する計画

### ● 計画のエッセンス

大阪市教育振興基本計画の基本理念に基づいて、「人間性豊かな子どもの育成」を目標に、「よく考える子 思いやりのある子 力いっぱいやり抜く子」をめざす子ども像とする。

### ● 中期目標、年度目標等

#### 【安全・安心な教育の推進】

○令和5年度末の児童アンケートにおける「学校のきまりやルールを守るようにしている」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。

○令和5年度末の児童アンケートにおける「学校に行くのは楽しいと思いますか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。

#### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

○令和5年度末の児童アンケートにおける「学校の学習（勉強）はよくわかる」の項目について、「とてもそう思う」と回答する児童の割合をどの学年も経年で前年度以上にする。

○令和5年度の小学校学力経年調査における「学級の友だちとの間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を前年度以上にする。

#### 【学びを支える教育環境の充実】

○令和5年度末の児童アンケートにおける「学習者用端末を活用した学習は楽しい」の項目について、肯定的に回答する児童を90%以上にする。

○年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を80%以上にする。

## 「特色ある学習活動」 および 「家庭・地域等との連携」

### 特色ある学習活動

#### ■ 人間性豊かな子どもの育成「いのちを大切に」

芝生や池、メダカやチャボなどの自然豊かな環境とふれあう体験を通して「いのち」に気づかせ、自然を大切にすることを養います。また、「いじめ」のない支え合う集団の育成をします。児童相互、教職員と児童のふれあいを深め、児童の実態を正しく把握し、効果的な指導を行います。



### 特色ある学習活動

#### ■ 異年齢の交流活動「集団活動に意欲的に取り組む態度を養うとともに、連帯感を育てる。」

週1回、児童集会で縦割り班によるゲームを実施しています。また、低学年と高学年のペアによる交流給食や通年の集団登校も実施しています。高学年は、学校のリーダーとして、自己有用感（誰かの役に立てたという成就感や誰かから必要とされているという満足感）を育みます。低・中学年は、高学年のしてくれたことに感謝し、自分もあんな高学年になりたいと憧れの気持ちをもつことが成長につながっていきます。



### 特色ある学習活動

#### ■ ICTの活用「課題解決に向けて、調べ、考え、交流する、意欲的に学習する児童の育成」

意欲的に調べたり、考えたり、まとめたりする児童を育成するために、ICT機器を活用した指導を行っています。大型ディスプレイで映像資料を見たり、デジタル教科書を使ったりすることで、視覚的に分かりやすい授業を実践しています。

高学年ではICT機器を活用して、委員会活動についてプレゼンをする授業も行っています。まだICTスキルが不十分な低学年に対しては、高学年がタブレットPCの基本操作を教える交流学習を行っています。



### 家庭・地域等との連携

#### ■ PTA活動「子どもたちの笑顔のために」

登下校の交通安全指導、6月のたつなんフェスタなど、いろいろな行事のお手伝いをしてくださっています。やればやるほど直接返ってくる子どもたちの笑顔のためにいろいろとがんばってくださいます。



### 家庭・地域等との連携

#### ■ 地域活動「子どもたちは地域の宝です」

登下校の見守り隊をはじめ、図書館ボランティア、箕南放課後将棋クラブ、はぐくみネットのおそうじティーチャー等の様々な活動、また、わくわくレクリエーションや箕南連合防災訓練、元気クラブの集い、ふれあいまつり、1年生と地域の交流会など、様々な組織・団体による多種多様な取り組みによって、子ども達の健全育成に協力していただいています。

